

部活動紹介

無限大の可能性を信じて、全力を傾けます

小学生から高校生までが同じグラウンド、同じ体育館を共用する日出学園。譲り合いながら工夫して使っています。小さな空間を見つけて練習に励む体育部、コンテストに向けて必死に練習する文化部。いまできることに全力を傾けてがんばる姿が印象的です。

一人ひとりが夢を持ち、そしてその実現に向けて、無限大の可能性を考え育てる力を、さまざまな部活動を通して生徒たちは学んでいきます。

高校軟式野球部は、2002年度の全国大会で初出場にもかかわらず準優勝のメダルに輝き、同年9月の国民体育大会に千葉県代表として出場しました。6~7年前には部員が2人となり、廃部にまで追い込まれそうになった野球部を、この快挙に導いた秘訣について「部員自身に練習方法を任せ、自

分たちで考えながら覚え、身につけていったやり方が彼らを上手くさせたのです」と中学の軟式野球部を指導する石川茂先生は話します。

「すべてが笑顔。勉強をがんばるときも、試合でがんばるときも笑顔。楽しみの中で

勝つという家村校長の教育方針が、自分たちの夢を実現に向けているんです」と話す生徒指導科長の藤原一先生の言葉に、生徒たちの自己実現に向かう姿勢がうかがうことができます。



軟式野球部

ほかにもこんな部があります



バスケットボール部



バレーボール部



剣道部



吹奏楽部



サッカー部

学校紹介

私立日出学園中学校・高等学校

〒272-0824
千葉県市川市菅野2丁目21番12号
TEL 047-324-0071

1934年、幼稚園・小学校として設立。その後1947年に中学校、1950年に高等学校が開校されて現在に至っています。「誠・明・和」を校訓に、生徒指導のポイントは「笑顔」で人と接すること、「夢」(目標)に向かって前進する精神力を育てることにあります。少人数制による中・高6年間の一貫教育を旨としたキメ細やかな指導のもと、数学・英語では習熟度別の授業を展開。中学校で基礎を確立し、高等学校では基礎を発展させて自ら錬磨することを目指しています。



私立日出学園高等学校

Hinode Gakuen High School

先輩たちに励まされ

将来の目標を立てたり、普段の授業ではできない勉強や体験をしたりするために、土曜講座が開かれています。エアロビクス、茶道など勉強で疲れた頭をリラックスさせるもの、補習授業、大学入試対策など、休みの土曜日を有意義に使えるしっかげです。

中でもユニークなのが「職業を語る会」。在校生の父母や卒業生を講師として招き、職業体験談や社会人としての心構えを、生徒たちに講演してもらいます。10人ほどの卒業生や生徒の父母が、自分の仕事の内容やその職業を選んだきっかけ、成功や失敗をエピソードを交えて話します。

環境デザインに携わる卒業生の広瀬俊介さんは、地域の緑を大切にしている都

OB、OGが後輩をバックアップ

日出学園から巣立っていったOB、OGとのネットワークが強いのも、大きな特徴です。

日出学園には卒業後、大学在学中の若い有志で結成する「瑞穂会」があります。瑞穂会は臨海学校で水泳の古式泳法・神伝流の伝承を行い、卒業後も後輩との間に強いきずなが育まれていく土台が形成されていきます。

社会に出てからも、教師となって戻る人、職業を語る会などの企画に積極的にかかわる人など、母校に対する敬愛の気持ちを持つ卒業生がたくさんいます。こうした好循環こそが日出学園の大きな特徴といえます。



教育実習生として母校の教壇に立った竹内千晴さん。「実習の最終日、かわいい後輩たちに“また国語を教えてね”と言われたのがうれしかった」と語る。

家村孝人校長は昭和40年の新任以来、38年間生徒たちを見守り続けてきました。家村先生に習ったという生徒も多く、いまだに卒業生すべての名前をそらんずる日出学園の名物先生です。

多くのOB、OGを見守ったクロマツと家村孝人校長先生。



土曜講座のエアロビクスを教えているのは数学の渡辺優子先生。

市計画の仕事の話をしました。「自身自身が悩みながら進んで来て、現在に至るまで、周りからたくさん助けられ、

励まされてきましたから、それをぜひ伝えられた」と言います。アイスクリーム製造業を営み、自ら店頭立つ山口政美さんは店に働いている若い人に、あいさつの大切さや笑顔の大切さを身をもって教えた体験を交えて話します。レジメの内容を作るのに1週間かかったという保護者の山縣聡さん。「自分自身を振り返るいい機会にもなりました。息子に、家では話題にしたことがない自分の職業を語ることができました」と言います。後輩たち、そしてわが子の同級生の、進路・就職選定の一助になればと講師を引き受けたかたも一生懸命です。



パソコンを使うなどの工夫で、わかりやすい講義をした山縣聡さん。